

DEI における平等と衡平の関係について

日出ロータリークラブ会長エレクト

加賀山 茂

堀川貴史 RI2720 地区のガバナーのガバナーアドレス「ロータリーはつながりで溢れているー友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょうー」を興味深く拝聴しました。

私は、その中で、ガバナーが RC の中核的価値観との関連を含めて、DEI (Diversity, Equity, Inclusion) を取り上げられた点に、感銘を受けました。

堀川ガバナーは、DEI (多様性, 衡平, 包摂) を説明する際に、多様性 (Diversity) と包摂 (Inclusion) とを説明した後に、衡平 (Equity) を平等 (Equality) との対比で説明されました。

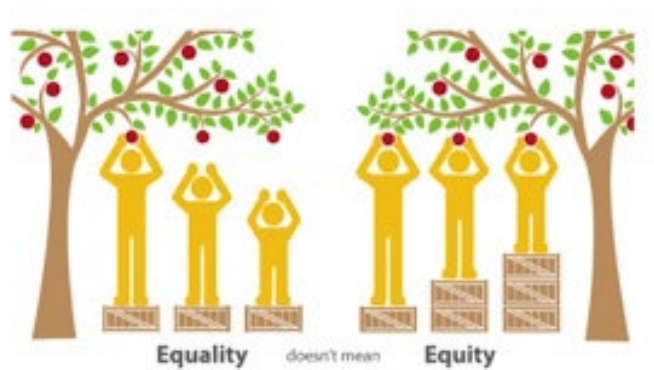


図 1 平等 (Equality) と衡平 (Equity) との比較

出典 : Equality v.s. Equity - 西尾泰和の Scrapbox

堀川ガバナーは、その際に、上の図 1 を用いられて平等と衡平の違いを説明されました。この説明は、非常にわかりやすいものでした。

ただし、私は、法律家であり、Equality (平等) と Equity (衡平) に関しては、いろいろと検討したことがあるため、ガバナーの説明に多少の違和感を覚えました。その理由は以下の通りです。

図 1 は、高い木になっているリンゴを取ろうとしている背の高い人 A、中くらいの背の人 B、背の低い人 C に対して、何を与えるのが適切かを問うものです。

A にも、B にも、C にも、踏み台を 1 台ずつ与えるのが平等 (Equality) の考え方であり、背の高さに応じて、A には 1 台、B には 2 台、C には 3 台の踏み台を与えるのが衡平 (Equity) の考え方であるというのが、ガバナーの説明でした。

ガバナーの説明は、この図の説明としては完璧であり、その結果も、妥当です。

しかし、この図においては、衡平を実現するのに、平等 (3 台の踏み台) の 2 倍の費用 (6

台の踏み台)を必要としています。

私は、Aにも、Bにも、Cにも、踏み台を1台ずつ与えれば、済む問題だと考えました。

なぜなら、Aがリンゴを取った後、AがBに1台の踏み台を貸してやり、次に、Bがリンゴを取った後、Bが不要になった2台の踏み台をCに貸してやれば、平等の場合と同じ費用で、平等を衡平に変得ることが出来ます。

私は、この点を踏まえて、E(平等)からE(衡平)を実現するのが、D(多様性)とI(包摂)の力であると説明すれば、DEI(多様性、衡平、包摂)の説明が完結すると考えました。

私が以上の説明をすると、ガバナーも納得されて、「今後に行うガバナーアドレスでは、バージョンアップを考えましょう」と応じて下さいました。

寛容の精神をお持ちの堀川ガバナーに心から感謝の意を表したいと思います。